

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 36  
2019.4

TOPICS

1

## 平成31年度岡山大学入学式、大学院入学式を開催



4月2日、入学式をジップアリーナ岡山で開催し、学部・大学院生ら計3,363人の新入生がキャンパスライフの第一歩を踏み出しました。

榎野博史学長が「どうか自分を信じ、常にCuriosity(好奇心)を忘れずに、将来への大きな夢と希望に向かって大学生活を送ってください」と式辞。新入生を代表して歯学部青山拓未さんが「これから迎える新たな時代の先駆者となるべく、仲間と共に頑張りたいと思います」と宣誓しました。

岡山大学交響楽団による祝典曲演奏や、応援団総部応援団からのエールもあり、会場を盛り上げました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8447.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8447.html)

TOPICS

2

## 「SiEED Conference 2019」を開催

本学と株式会社ストライプインターナショナルは、岡山から未来創造に向けた新たな学びの場・人材の創出を目指し、アントレプレナーシップ(起業家精神)とイントラプレナーシップ(改革者精神)を学ぶ「SiEEDプログラム」を4月より開講。開講に先駆け、講座のビジョン・コンセプトに触れる場として、新たなZeitgeist(時代精神)を語り合うカンファレンス「SiEED Conference 2019」を開催しました。

本学学生や教職員、企業、自治体関係者のほか、小・中・高校生らの参加もありました。世界・各分野で活躍するイノベーターと聴衆による自由討議を通じて、「未来を創造する新しい形と力」に触れる、熱気溢れるイベントとなりました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8470.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8470.html)

### 最近の大学の取り組み

## 「SDGsウェブサイト」をリニューアル



トップイメージ撮影：学長 榎野博史

SDGsの達成に向けた本学の取組事例や活動実績などを、国内外に発信するウェブサイトをリニューアルしました。SDGsの達成に向け、本学の教職員や学生らが取り組んでいる研究・教育をはじめとする事例を230件掲載。各事例は、SDGs17の目標別にご覧いただけるほか、カテゴリや部局、担当者検索も可能です。キーワード入力での閲覧も可能となっており、研究者や教育機関の皆さまはもちろん、中高生や大学生、地域の皆さまにも広くご活用いただけるページを目指しました。

参考 <https://sdgs.okayama-u.ac.jp/>

TOPICS  
3SDGsを身近に体験！  
学生×生協のコラボでTFTメニューが誕生

4月8日からピーチユニオン3階で、途上国の子どもの給食を支援するTFT(TABLE FOR TWO)メニューの提供が始まりました。本学経済学部2年の中澤拓也さんのアイデアが岡山大学生生活協同組合の協力により実現しました。

TFTは日本発の社会貢献運動で、先進国の参加者と途上国の子どもたちが、時間と空間を越え食事を分かち合うことで、先進国の飽食と途上国の飢餓の同時解決を目指すというものです。TFT対象のメニューを食べると、代金のうち20円が寄付金となり、TFT事務局を通してアフリカ・アジアの子どもたちへ給食が届けられます。

TFTメニューは、日替わりのメインと小鉢が2つ付いて311円(税込)。ライス(Sサイズ)と味噌汁をセットにしても、TFTのガイドラインにある「カロリー730kcal程度の野菜が多いヘルシーなもの」という条件を満たすように作られています。日本でのヘルシーな食事1食が、アフリカ・アジアで子どもたちの温かい給食1食につながる仕組みです。



参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8462.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8462.html)

TOPICS  
4

## 国際研究拠点形成プログラム(RECTOR)を開始



研究力強化を進めるための大学改革を先導的に進める施策として、新たに「大学改革促進のための国際研究拠点形成プログラム(RECTOR)」を開始しました。

海外で活躍する優れた研究者を招へいし、岡山大学の研究者の海外との共同研究を促進することなどにより、世界的な学術研究拠点の形成と若手研究者の育成を図ることで本学の研究力を強化するとともに、本学の研究制度等の改革を先導することを目的とするものです。

プロジェクトは、理工系、生命系、医療系の3つの分野で、学長のリーダーシップによる大学改革プログラムとして実施します。



参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id614.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id614.html)

PRESS  
RELEASE1 骨髄穿刺・骨髄生検のトレーニングキット  
「骨髄戦士セイケンジャー」を製品化！

岡山大学病院の西森久和助教は、コルクメーカー内山工業株式会社との産学連携研究によって、骨髄検査のトレーニングキットを製品化しました。

骨髄検査には「骨髄穿刺」と「骨髄生検」の2つの検査があり、血液の腫瘍診断などに重要な役割を果たしますが、手技習得のための練習器具はこれまでにありませんでした。

そこで、「骨髄質」と「骨皮質」にそれぞれ「コルク」と「硬質樹脂」を使って骨髄穿刺針を刺す感覚を再現。骨髄生検針を使い「コルク」を針の中に捉えて採取する骨髄生検のトレーニングまで可能なキットを開発しました。製品名の「骨髄戦士 セイケンジャー」は、「穿刺」と「戦士」をかけ、「生検だ」を岡山弁で「セイケンじゃ」と表現。血液内科医を目指す人材輩出のための教育素材として考案しました。

骨髄戦士  
セイケンジャー



参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id613.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id613.html)